

ホームステイを通して学んだこと

西田 伊歩希（高校2年）

この交換派遣を通して一番思い出深かったのは、ホストファミリーとの日々だった。私はホームステイを通して楽しい思い出だけでなく、さまざまな大事なことを学んだ。

まず、アメリカでホストファミリーとより友好で快適な関係を築くためには、より積極的にコミュニケーションをとっていくことが重要だと思った。アメリカ人は沈黙の時間を好まず、アメリカ人同士の会話では沈黙はほとんど見られなかった。アメリカ人が沈黙を好ましく思っていないことを実体験として感じる事ができた。また、相手がしてくれた質問に対して一言で済まさないほうが良い。たとえば帰宅後や夕食時に“How was your day?”と聞かれて“Good.”や“It was good.”だけで済ませてしまうのは相手に失礼である。質問してくれたということは興味を持ってくれたということなので、何が Good だったのか、具体的にその日のエピソードについて話す必要がある。そう話している間に相手はたくさん質問してくれて、どんどん話が進む。そしてこちらからも相手に話かけることで、より相手のことを知ることができて友好な関係を築くことができる。私は自分の英語力の無さからコミュニケーションを取ることができて躊躇していたときが度々あったが、そんなことを気にせず、恥ずかしがらず、考えすぎずにどんどん話しかけていくことがホストファミリーの人に対してはでは特に大事だと感じた。



もう一つ、ホストファミリーと友好な関係を築くためにはさまざまな手伝いをすることも大事だ。食べ終えた食器を洗ったり、買い物袋を持ったり、自分にできることがあったら積極的に手伝っていくことも友好な関係を築くための方法の一つだと思う。加えてホストファミリーとのトラブルを防ぐためには自分の意思表示をしっかりと、Yes と No をしっかりと言うことも大切だ。そうすることで誤解を避けることができ、お互いに、より快適に過ごすことができる。またホームステイではなるべく部屋にこもることは控えた方が良い。自由時間にずっと自室にいてしまうとホストファミリーとの会話の機会が大幅に減ってしまうので、ホストファミリーと仲良くなるためにも一緒に過ごす時間を多くしたほうが良い。また、日本とアメリカでは生活様式も大きく違うのでそこも注意が必要だ。車の右側通行や家では基本土足など、初めてアメリカへ行く人はあまり慣れないかもしれない。しかし生活様式の違いを知ることがこの交換派遣の魅力でもある。日本では体験できないことをたくさん体験でき、自分の知らないことを知ることができる。

この体験によって自分の世界が確実に広がった。ただ楽しかっただけでなく自分がこれから大人へと成長していくために必要なこと、大切なことを学ばせてくれた。この派遣プログラムに携わった方々には感謝してもしきれない。積極的に行動することができて、誰にでも親切に、そして感謝を忘れない、そんな大人に私はなりたい。